



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

海上技術安全研究所 国際会議報告



会 議：国際標準化機構（ISO）船舶及び海洋技術専門委員会（TC 8）救命及び防火分科委員会（SC 1）、同救命作業委員会（WG 1）、その他の安全設備作業部会（WG 2）、防火作業部会（WG 3）パナマ会議

開催場所：International Maritime University of Panama (UMIP), Calle College, Panama City, Panama

会議期間：2018年5月8日～10日

参加者：リエゾンを含む12カ国38名

海技研からの出席者：太田 進：国際連携センター長

宮崎恵子：知識・データシステム系 副系長（国際連携センター併任）

概要：

ISO/TC 8/SC 1（以下、SC 1と記す。）は

- 「膨脹式救命器具のガス膨脹システム」は、投票結果に基づき、委員会原案（CD）の作成段階を省いて国際規格案（DIS）段階に進むことを確認した。
- 極海コードに対応する救命設備に関する日本のプレゼンテーションを踏まえ、審議を進めることを確認した。
- 救命艇等の整備に関する新規作業計画について審議した。

主な貢献

太田及び宮崎は、救命設備に係る審議（WG 1）に参画し、各種規格案の審議に貢献した。太田は、国際海事機関（IMO）船舶設備（SSE）小委員会の議長として、IMOにおける審議に係る事項について各種の助言を行った。宮崎は、プロジェクトリーダー（PL）として規格改正案の作業の進捗に貢献した。また、宮崎は、新規作業項目として準備を進めている極海コードに対応する救命設備の規格案に関連して、プレゼンテーションを行った。



ISO/TC 8/SC 1 パナマ会議参加者



主な審議結果

全体会合は初日の午前中と最終日（三日目）に開催された。各 WG は、初日の午後、二日目終日、及び三日目の朝に並行して開催された。海技研からの出席者が参加した会議の主な審議結果は以下の通りである。ほかの会議並びに審議結果の詳細については、他機関の報告を参照願いたい。

1 救命設備（WG 1）

1.1 ISO 15738 膨張式救命設備のためのガス膨張システム

PL（宮崎）がこれまでの審議経過を踏まえて作成した規格改正原案は、委員会原案（CD）の作成段階を省いて国際規格案（DIS）段階に進むことが、今次会議直前締切の投票により決まったことが報告された。今次会合では、この投票時に提出されたコメントについて審議し、規格の修正案を作成した。

1.2 ISO 17339 救命艇及び救助艇のためのシーアンカー

PL（宮崎）がこれまでの審議経過を踏まえて作成した規格改正原案は、現在、最終国際規格原案（FDIS）投票中であることが報告された。

1.3 その他の ISO 規格の状況

「ISO 18079 シリーズ（Part 1～5）膨脹式救命設備の整備」は、ISO 規格としての制定に向かっていることが報告された。「ISO 19898 落水者等の回収装置」は、PL（アイスランド）は欠席であったが、DIS 投票に向けた作業文書に対して、今次会合のために、日本から修正案を提案していた。よって、この修正案について審議し、一部事務局が確認する事項を除き、内容に合意した。

「ISO/PAS 21195 船上からの落水者の検知システム」は、CD 投票時のコメントのうち、技術的な内容について審議し、修正案を作成した。

「ISO 19897 降下式生存艇乗込装置－氷結試験」と「ISO 19912 イマーション・スーツ、耐暴露スーツ及び常時着用型スーツの整備」は投票中であるため、「ISO 15734 水圧離脱装置（改正）」と「ISO/AWI PAS 22757 客船の避難の際の人の位置特定システム」は、PL が欠席等で審議対象文書がなかったため、今次会合では、審議していない。

2 新規 ISO 規格の状況

極海コードに対応する救命設備の性能要件については、一般財団法人日本船舶技術研究協会から受託した 2017 年度調査研究で宮崎が実施した成果を発表した。日本が分析した極海コードが影響する項目等を踏まえ、本件については、今後、さらに審議していくこととなった。

救命艇等の整備に関する新規規格については、「ISO/IEC 17024:2012 適合性評価－要員の認証を実施する機関に対する一般要求事項」に則って開発することとなった。また、具体的な規格の内容の審議以前に、整備者が認証を受ける救命設備の範囲を示す用語の明確な定義について議論となった。しかし、結論は出ず、パナマ会議で定義に合意することは困難との共通認識となり、今後、引き続き審議していくこととなった。

3 次回会合

次回の WG 1 の中間会合は、2018 年 11 月頃に開催される予定である。開催地として、ポルトガルのリスボンが候補にあがっている。